

科目名 (英)	社会学 ( Sociology )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	学科・コース 介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜、4時限目

【授業の学習内容】

個人が自立した生活を営むということを理解するため、個人、家族、近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや自助から公助に至る過程について理解する。  
 ※実務者経験：高等学校に所属していた。主業務は教務(世界史、倫理、政治経済)を担当していた。  
 ・福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の相談支援業務を担当していた。 ※取得資格：社会福祉士

【到達目標】

生活支援を実践する介護福祉士として必要な生活と福祉の関係を理解するための知識を学ぶ。  
 個人、家族、地域、社会の単位で人間を捉え、家族援助、社会資源との連携、社会関係の調整が実践できるようになる。

授業計画・内容

1回目	「オリエンテーション」…社会学とはどのような学問であるかということを理解し、社会学を学ぶ意義を説明できる。
2回目	「家庭生活の基本機能」…生産、労働、教育・教養、保健・福祉、生殖、やすらぎ・交流等、社会的に理論化された家庭生活の基本的機能について理解し、説明することができる。
3回目	「家族①」…家族の概念、家族の変容、家族の構造や形態の学習を行い、社会的存在としての家族を理解し、説明することができる。
4回目	「家族②」…家族の機能・役割、家族観の多様化について学び、現代的な家族の姿を理解し、説明することができる。
5回目	「地域①」…地域の概念、コミュニティの概念を理解し、説明することができる。
6回目	「地域②」…地域社会の過疎化と都市化、地域社会の集団・組織について理解し、地域社会の問題について説明できる。
7回目	「社会・組織①」…社会・組織の概念と機能・役割について理解し、説明することができる。
8回目	「社会・組織②」…集団の支援、組織化、エンパワメントについて学び、集団の組織化や集団活動の展開が計画できるようになる。
9回目	「ライフスタイルの変化①」…少子高齢化や雇用労働の変化について学び、介護の社会化の必要性を理解し、説明できるようになる。
10回目	「ライフスタイルの変化②」…余暇時間の延長、生涯学習・地域活動への参加の意義について学び、生活の質の向上について理解し、実践できるようになる。
11回目	「社会構造の変容①」…産業化・都市化について理解し、高齢者の生活の現状について説明できるようになる。
12回目	「社会構造の変容②」…地域社会の変化について理解し、高齢者の生活の変化について説明できるようになる。
13回目	「生活支援と福祉①」…生活の概念の変遷について理解し、説明できるようになる。
14回目	「生活支援と福祉②」…福祉の考え方とその変遷について理解し、説明できるようになる。
15回目	「生活支援と福祉③」…自助、互助、共助、公助の概念について理解し、『わがことまるごと』を基盤とした包括的な援助について説明できるようになる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：新・介護福祉士養成講座②「社会と制度の理解」(中央法規出版)